

クイックガイド

改訂版①

 **混合燃料** 無鉛レギュラーガソリン **25:1** 2ストローク用オイル 左記以外や25:1~50:1のような幅を持たせた混合燃料使用不可

安全に正しくお使いいただくために、ご使用前に本ガイドとWEB取扱説明書を必ずお読みください。ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。

詳細は
カラー版のWEB取説
をご覧ください



ハイガー株式会社はSDGs・カーボンニュートラルの取組の一環として、紙の取扱説明書を大幅に削減いたしました。どうぞご理解ください。



安全上のご注意


お使いになる人や他人への危害・財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■表示内容を見逃して、誤った使い方をしたときにおよぼす危害や損害の程度を次の表示で区分し、説明しています。

 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷を負う恐れがある」内容です。

 **注意** この表示の欄は「軽傷、物的損害、故障が生じる恐れがある」内容です。



■お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。



警告（製品に係る安全事項）

 禁止	<p>エンジンが熱いうちは、給油しないでください。</p> <p>燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。</p> <p>運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。</p> <p>換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。</p> <p>回転している部分の近くに手または足を入れしないでください。</p> <p>エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので注意してください。</p> <p>改造、分解は絶対に行わないでください。安全性・信頼性が低下したり故障の原因になります。また、当社の保証サービスは一切受けられなくなります。</p> <p>ご使用前にこの説明書をお読みになり取扱の注意事項をよく理解したうえでご使用ください。</p> <p>正しい操作を知らない人、子供、妊娠中の方には操作をさせないでください。</p>	 強制	<p>運転中は、排気ガスに十分注意してください。</p> <p>運転中は、ハンドルを両手で持ってください。</p> <p>燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。</p> <p>燃料をこぼさないように注意してください。</p> <p>燃料がこぼれた場合は、直ちにふき取ってください。</p> <p>燃料キャップは確実に閉めてください。</p> <p>必ず両手でしっかり本体を保持してください。</p> <p>エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。</p> <p>始動前点検を実施してください。</p>



⚠警告（製品に係る安全事項）

 禁止	未成年者の単独使用は禁止です。監督下で作業してください。	 強制	使用中に異常音、異常振動があったときは、直ちに使用を中止し、点検、修理を行ってください。
	成年者でも、操作の仕方がよく分からない場合は、単独での使用をしないでください。		子供の手の届かない安全な場所に保管してください。


⚠注意（製品に係る安全事項）

 禁止	指定された用途以外には使用しないでください。	 強制	燃料は潤滑油混合ガソリンを使ってください。
			長期間保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
			給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
			部品交換は、純正部品を使用してください。
			本機をご使用になる前に、エンジンの始動、停止の仕方を覚えてください。
			定期点検整備を行ってください。



⚠警告（作業に係る安全事項）

 禁止	身体の調子が悪いときや、判断力に影響するような酒類、薬物を服用しているときは、使用しないでください。	 強制	運転中は、排気ガスに十分注意してください。
	動作中にアタッチメント部分やエンジン部分に顔や手足を近づけないでください。		長袖、長ズボンを着用し、すべりにくい安全靴、防振手袋、保護メガネ、ヘルメット、耳栓などの作業に適した服装を着用してください。
	ご使用時は、使用者から15m以内は危険です。人や動物が入らないようにしてください。		適切な間隔で休憩をとってください。
	夜間、悪天候時、霧の発生時など、視界が良くないときは使用しないでください。		本機から離れるときは、必ずエンジンを停止してください。
	足元が滑りやすい、転倒しやすい場所では使用しないでください。		危険を感じたり、予測される場合も、必ずエンジンをすぐに停止してください。
	はしごや脚立などの不安定な場所、姿勢で使用しないでください。		
	急傾斜地では使用しないでください。		
	燃料タンク内に燃料を入れたまま運搬、保管しないでください。		
	機械の稼働部分に絡まるような衣服は着用しないでください。		


⚠️ 警告（作業に係る安全事項）

 禁止	エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。	 強制	少しの移動でもエンジンを停止し、スロットレバーを低速の位置にして、ハンドルを持って運搬してください。
---	------------------------------	--	--

⚠️ 注意（作業に係る安全事項）

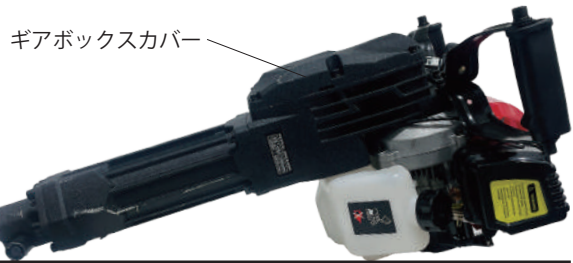
 禁止	機械の可動部分に絡まるような衣服、装飾品、タオルなどは着用しないでください。	 強制	万一に備え、救急箱、タオル、外部連絡用電話を用意してください。
	エンジンがかかっている状態で本機から離れないでください。		本製品を長期間保管するときは、取扱説明書に従って保管してください。
	本機への損傷を避けるために、作業中のエンジンの急停止はしないでください。		

⚠️ 注意（作業に係る安全事項）

燃料タンクに、2ストローク用オイルだけ、無鉛ガソリンだけを入れしないでください。	
燃料タンクに、4ストローク用オイルを入れしないでください。	

⚠️ 警告（エンジブレーカーの運搬に係る安全事項）

 禁止	 強制	運搬時は必ずエンジンを停止してください。
		エンジンや本機がよく冷えてから運搬してください。
		運搬する場合は必ず燃料を抜いてください。
		本機を立てた状態で運搬する場合は、動いたり、倒れたりしないようにしっかりと固定してください。
		エンジンブレーカーは水平な場所に置いた状態で運搬してください。本体を横に倒す場合は、まず燃料をタンクから必ず抜いてください。燃料タンクのキャップをしっかりと閉めて、エンジンや本体が冷えた後に、ギアボックスカバーが上側に向くように倒してください。



振動障害の防止

● 1日の使用時間について

1日の作業時間は、機体または取扱説明書に表示の「周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値」により、厚生労働省通達で決められています。

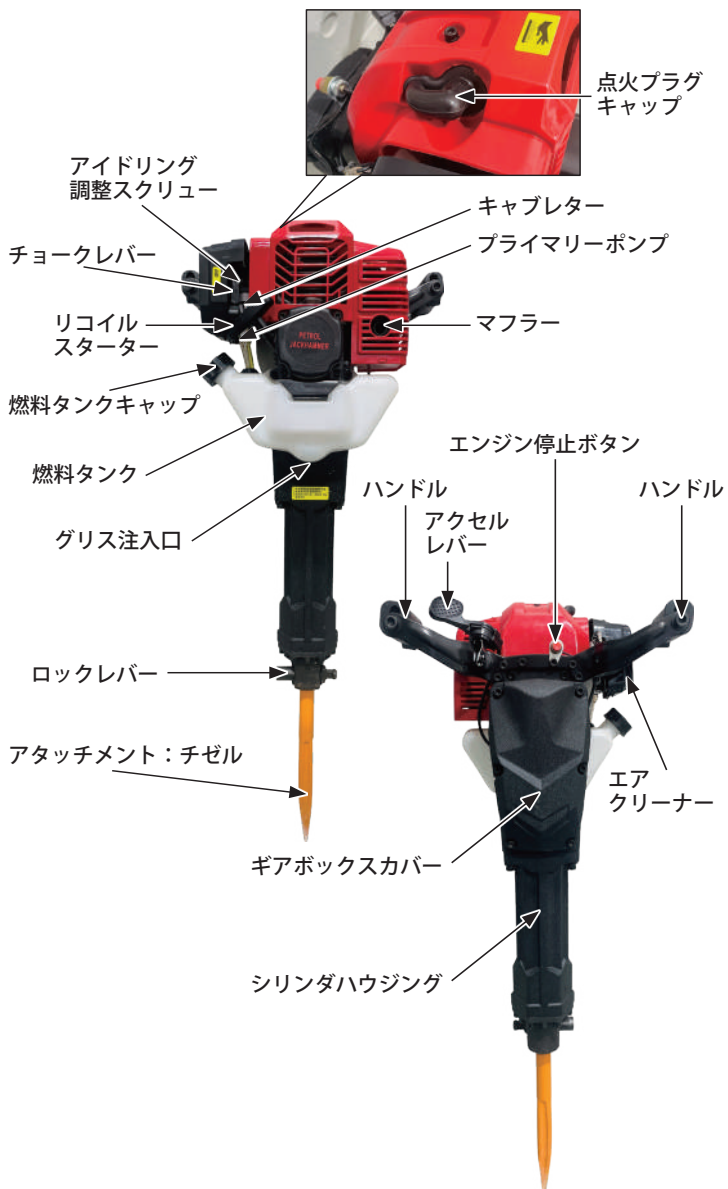
① 10m/s ² より小さい場合		② 10m/s ² より大きい場合	
1回の連続作業時間	10分以内	1回の連続作業時間	10分以内
1日の作業時間	2時間以内	1日の作業時間	T: 1日の最大作業時間 T=200÷(a×a) a: 周波数補正振動加速度実効値の3軸合成値 (m/s ²)

● 製造時の振動レベル維持のため

- 定期的な点検、整備を行い、常に最良の状態を保ってください。
- 異常がある場合、速やかに使用を中止し、点検整備を行ってください。

各部の名称

※本取扱説明書に掲載されている写真はプロトタイプのため、本製品と仕様が異なる場合があります。



梱包部品一覧

- ユニットとすべてのアクセサリを慎重に箱から取り出し、全てのユニット・アクセサリに不足・問題がないことを確認してください。
- 製品を注意深く点検し、輸送中の損傷がないことを確認してください。万が一損傷が見受けられた場合は、運送会社に1週間以内に連絡をしてください。
- 梱包材を慎重に検査し、使用する前に廃棄しないでください。不足している場合は、お手数ですが弊社までご連絡ください。

警告

不足しているものがある場合は、不足している部品を手入するまで使用しないでください。

A. 本体	B. アタッチメント：ブルポイント (コンクリート・石材粉砕用)
D. 工具★ D-1 D-2 D-3 D-4 D-5 D-6 D-7	C. アタッチメント：チゼル (切削・溝切り用)
	E. 混合タンク
F. 漏斗とフィルタ	

※製造時期により仕様変更になる場合や部品が本体に取付済みの場合があります。

★サービス品です。予告なく終了する場合があります。

■ ご用意いただくもの

- ・無鉛レギュラーガソリン
- ・2ストローク用オイル JASO FBまたはFC、FD
- ・潤滑油・耐熱グリス

主要諸元

モデル名	HG-SL100
排気量	52cm ³
馬力	2.55HP
最大出力	1.9kW / 6500min ⁻¹
最大トルク	3.5N・m / 5000min ⁻¹
打撃数	1800min ⁻¹
打撃力	20～55J
3軸合成値	3m/s ²
燃料	混合燃料 (25:1)
燃料タンク容量	1.3L
燃費	0.6L/h

騒音値	80dB以下（エンジン起動中） 103dB以下（作業中）
起動方式	リコイルスターター方式
互換点火プラグ	BPM7A(NGK)
本体サイズ （幅×奥行×高さ）	約375×約280×約670mm
本体重量	約16kg

◎弊社は、顧客満足度100%を目指し、日々製品（部品やカラーも含め）の改良を行っています。
そのため、予告なく仕様を変更する場合があります。
また、取扱説明書に最新情報が反映されない場合があります。ぜひご理解・ご了承ください。

組立て

警告

- ・説明書をよく読んで正しく取付けてください。
- ・指定した付属品を取付けてください。
- ・組立後は、すべての部品が確実に取付けていることを確認してください。

アタッチメントの取付け

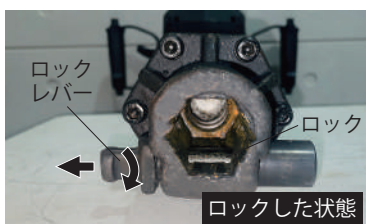
オプションのシャベルを取付けることもできます。
本書はチゼルの取付け手順で説明します。

注意

- ・オプション品は弊社指定のものを使用してください。
- ・取付け時はアタッチメントを正しく取付けてください。

1 本体をゆっくりと平らな所へ倒します。

2 ロックレバーを引いてから回して、ロックを解除します。



3 チゼルの凹み部分を挿入口に合わせて、奥に突き当たるまで挿入します。



注意

アタッチメントに土や砂が着いたまま取付けると内部の打撃機構が摩耗し、故障の原因や製品寿命の低下につながります。必ずアタッチメントを掃除してから取付けてください。

4 ロックレバーを回し、ロックします。チゼルを引っ張って、確実に固定されていることを確認します。



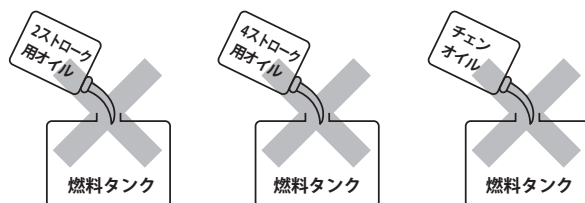
運転前の点検

警告

- ・エンジンが熱いうちは、給油しないでください。
- ・燃料が漏れたり、こぼれたままエンジンをかけないでください。
- ・運転時、給油時は、喫煙など火気を発生させないでください。
- ・燃料を補給するときは必ずエンジンを停止して、屋外の換気の良い場所で行ってください。
- ・燃料をこぼさないように注意してください。所定のレベルを超えて補給しないでください。
- ・燃料がこぼれた場合は、直ちに拭取ってください。
- ・燃料は、無鉛レギュラーガソリンと2ストロークエンジンオイルの混合燃料を使用してください。ガソリンだけで運転するとエンジンが焼き付きます。
- ・混合燃料は、一度に使い切るだけ作ってください。

注意

- ・燃料キャップは確実に閉めてください。
- ・長期間保管する場合は、燃料タンクの燃料を抜き取り、火気のないところに保管してください。
- ・給油中、燃料タンク内に雪や水が入らないように注意してください。
- ・弊社は、燃料の販売はしておりません。必ず別途燃料をご準備ください。
- ・燃料タンクに、2ストローク用オイルだけを入れしないでください。
- ・燃料タンクに4ストローク用オイル、チェンオイルを入れしないでください。



混合燃料25:1の作り方

市販の25:1~50:1というような幅を持たせた混合燃料やその他使用範囲のある混合燃料は、絶対に使用しないでください。エンジン焼き付きの原因になります。

★必ず指定のオイルを指定された割合で混合してください。

- 1 無鉛レギュラーガソリン
2 ストローク用オイル JASO FBまたはFC、FD
漏斗(じょうご) (付属)
混合タンク(付属)
を準備します。
- 2 例として無鉛レギュラーガソリン25に対し2ストローク用オイル1の割合で1000mlの混合燃料を作ります。
- 3 混合タンクに無鉛レギュラーガソリンを規定量①まで入れます。
- 4 2ストローク用オイルを②まで続けて入れます。



	ガソリン	オイル	ガソリン	オイル
25:1 ガソリン オイル割合 早見表	100ml	4ml	600ml	24ml
	200ml	8ml	700ml	28ml
	300ml	12ml	800ml	32ml
	400ml	16ml	900ml	36ml
	500ml	20ml	1000ml	40ml

- 5 混合タンクのキャップをしっかりと閉め、混合タンクを振り、カクハンします。

燃料の点検・補充

燃料の量を点検し、不足している場合は補給します。

- 1 混合燃料(25:1)を準備します。(「混合燃料25:1の作り方」参照)
- 2 本体を平らで安定して立てられる場所に立てるか、別の作業者に本体のハンドル持ってもらって、本体を立てます。



- 3 燃料タンクキャップを開けます。



- 4 混合燃料(25:1)を、少しずつこぼさないようジョッキや付属の漏斗(じょうご)等を使い給油します。

- 5 給油が終わったら燃料タンクキャップをしっかりと閉めます。閉めがあまりいと漏れの原因となります。

エンジンのかけ方

警告



禁止

- 燃料を補給した場所でエンジンを始動しないでください。
- 換気の悪い場所ではエンジンをかけないでください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどすることがありますので高温部に触れないでください。



強制

- 平坦な場所で作業を行ってください。
- エンジン始動後、異常を感じたり、予測される場合はすぐにエンジンを停止してください。
- 本機から離れるときは必ずエンジンを停止してください。
- 少しの移動でもエンジンを停止し、ハンドルを持って運搬してください。

注意

- エンジンを始動するときは、周囲に人や動物がいないことを確認してください。
- 必ず両手でしっかりと本体を保持してください。

出荷時には燃料は入っていません。
給油後に操作をしてください。

エンジンが冷えているときのかけ方

- 1 アクセルレバーが低速(L側)にあることを確認します。



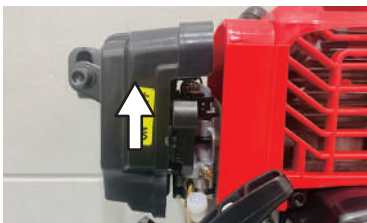
警告

必ずアクセルレバーは低速にしてください。低速にしていないとエンジンがかかった瞬間に動作してしまいます。

- 2 フィルターカバーの裏にあるプライマリーポンプを約10回押し、燃料を引き出します。
※リターンパイプに燃料が貯まったらOK。



- 3** チョークレバーを上「閉」にします。(エンジンが冷えている場合) この時、写真のように確実に上までレバーを上げてください。



- 4** 本機をしっかり保持して、リコイルスターターロープを引きます。



※ロープを引き出すと止まる位置があるので、そこから素早く引きます。おおよそ35cm引きます。(ロープは一杯に引ききらないでください。) 引きが少ないとエンジンはかかりません。

- 5** 初爆…「ブルンッ」というエンジンがかかりそうな音が一回だけ起こるまで、最大5回繰り返します。

⚠️ 注意

- ロープを最後まで引き切らないでください。
- 引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

👉 リコイルの引き方ポイント

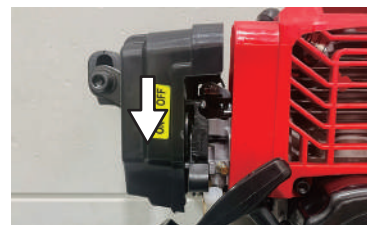
※写真は、別機種



- ①②良い例：片手でグリップをしっかり押さえ、真っ直ぐ引く。
③悪い例：穴に対してロープを真っ直ぐ引かずに斜めに引くと、抵抗になりエンジンがかかりにくく、ロープが摩擦で切れます。

● 初爆が確認できた場合

- 1** チョークレバーを下「開」にします。



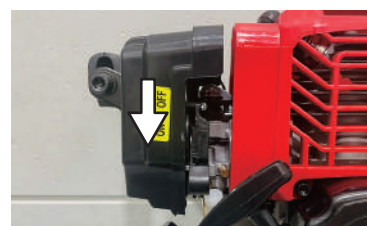
- 2** リコイルスターターを素早く数回引きます。

※エンジンが冷えているときや燃料切れで補充したときは、10回以上ロープを引くことでエンジンがかかりやすくなります。

- 3** 「●エンジンがかかったら」に進みます。

● 初爆と同時に始動した場合

- 1** チョークレバーを下「開」にします。



- 2** 「●エンジンがかかったら」に進みます。

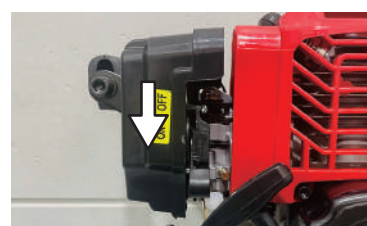
■ エンジンが温まっているときのかけ方

※外気温には関係なく、エンジンそのものが温まっている場合です。再始動などがこれに当たります。

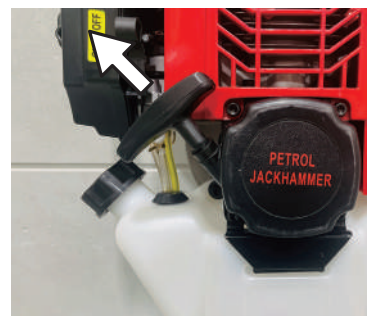
- 1** プライマリーポンプを繰返し押します。(5回前後)



- 2** チョークレバーを下「開」にします。



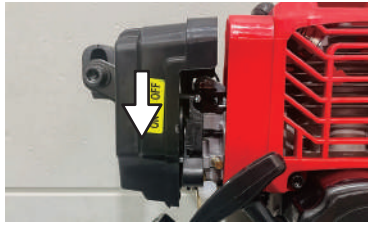
- 3** 本機をしっかり保持し、リコイルスターターを少し重くなるまでゆっくり引き、そこから真っ直ぐに素早く35cm引張ります。エンジンがかかるまで数回繰り返します。
※引く距離が短いとエンジンはかかりません。



- 4** 「●エンジンがかかったら」に進みます。

●エンジンがかかったら

- 1 エンジンがかかったらすぐチョークレバーを下「開」にします。



- 2 エンジンが始動したら、アクセルレバーはそのままの位置で10秒程度、暖気運転をします。
- 3 作業をする場合は、アクセルレバーを低速(L側)から中速側の位置にします。
- 4 作業をする場合は、運転操作の仕方の「作業方法」に進みます。

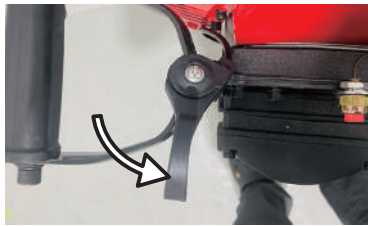
エンジンがかからないとき

下記をご確認ください。

- 燃料がキャブレターに行き渡っていない。リターンパイプに燃料が流れているか確認します。(「エンジンのかけ方」参照)
- チョークレバーを「閉」にしていない。(「●初爆が確認できた場合」参照)
- エアフィルタが汚れている。(点検整備・清掃の仕方「エアリーナーの点検・清掃・交換」参照)
- リコイルの引き方が正しくない。(「リコイルの引き方ポイント」参照)
- 燃料が行き過ぎて、点火プラグを濡らしてしまっている可能性があります。(web取説「困ったときの対処法(点火プラグの点検)」参照)

エンジンの止め方

- 1 アクセルレバーを低速(L側)にします。
- 2 エンジン停止ボタンを3秒間長押しするとエンジンが停止します。



👉ポイント

エンジン停止直後の再始動には、プライマリーポンプを押さずにチョークレバーを下「開」にし、リコイルスタータロープを引いてください。

⚠️注意

エンジン停止後しばらくは、エンジン、マフラー等の高温部に触らないでください。やけどの恐れがあります。

作業方法

⚠️注意

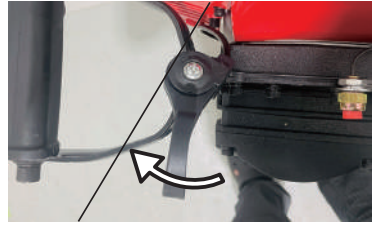
- ロープを最後まで引き切らないでください。
- 引いたリコイルスターターは途中で放さずに、ゆっくり戻してください。

- 1 エンジンを始動します。(「エンジンのかけ方」参照)

- 2 作業をする場合は、リコイルスターターを外側にしてハンドルを両手で持ちます。



- 3 アクセルレバーを低速側(L側)から中速側の位置にします。アタッチメント部分が動き始めます。



⚠️注意

使用開始から最初の24時間は、耐用年数を延ばすために、スロットレバーは中低速で使用してください。24時間後もアクセルレバーは急激に高速(H側)にせず、徐々に高速にしてください。

- 4 作業を止めるにはエンジンを止めます。(「エンジンの止め方」参照)

運搬、輸送について

本機を運搬するときは、次のことに注意してください。

⚠️警告

- 運搬時は必ずエンジンを停止してください。
- 運搬する場合は、燃料漏れによる火災を防止するため、燃料タンクから燃料を抜き取ってください。
- エンジン回転中及び停止後しばらくの間はエンジンやマフラーなどが熱くなっています。触れるとやけどをすることがありますので注意してください。

点検整備・清掃の仕方

警告

- 点検整備をするときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。
- 作業中にエンジンを始動するようなことは絶対にやめてください。また周囲に子供や動物が近づかないよう配慮をお願いします。
- 点検整備後は、すべての部品を確実に取付けたことを確認してください。

注意

- 作業には工具を使用することがあります。必ず用途やサイズの合ったものを使用し自身や周囲の確認をしながら安全に作業を行ってください。
- メンテナンス終了後は汚れが付着しない場所かカバーなどをかぶせて保管ください。

対象部品	点検項目	運転前の点検	30時間運転後	3ヵ月毎または50時間運転毎	6ヵ月毎または100時間運転毎	1年毎または300時間運転毎	掲載ページ
燃料	燃料量、漏れ	●					運転前の点検 「燃料の点検・補充」
エアクリーナー	清掃			●			「エアクリーナーの点検・清掃・交換」
	交換					●	「エアクリーナーの点検・清掃・交換」
点火プラグ	清掃				●		「点火プラグの点検・清掃・交換」
	交換					●	「点火プラグの点検・清掃・交換」
グリス	注入		●				「耐熱グリスの注入」

エアクリーナーの点検・清掃・交換

エアフィルタの汚れを点検し、汚れがひどいときはよく洗います。

- エアクリーナーカバー上の引っかかりを上げて、カバーを下に下げます。中にあるエアフィルタを取外します。



エアフィルタ

- エアフィルタを取出して、エアフィルタの表面や中側の汚れをエアダスター等で吹き飛ばします。



- エアフィルタの汚れがひどい場合は、中性洗剤入りのぬるま湯で丁寧に洗い、水ですすいだあとよく乾燥させます。

- 取外しと反対の手順で取付けます。

点火プラグの点検・清掃・交換

点火プラグの電極を点検し、汚れている場合は、ワイヤブラシで清掃してください。手順5でプラグに異常がある場合は交換してください。

■使用工具: プラグレンチ(付属)、ワイヤブラシ

適応点火プラグ

BPM7A (NGK)

- プラグキャップを取外します。※プラグキャップを取外す際、左右にグリグリ回しながら引き抜くことで簡単に取外すことができます。



プラグキャップ



- 2** 付属のプラグレンチで、反時計回りに回して点火プラグを取外します。固い場合は、プラグレンチの柄の部分回転方向に叩きます。



- 3** 電極の周辺に、オイルや堆積物が付着している場合はワイヤブラシで清掃します。



※市販品をご購入の場合は、外した点火プラグを持参し、大きさ・長さを確認しお求めください。



- 4** プラグキャップにプラグを確実にはめ、プラグ先端を金属部に当てながらリコイルスターターを引っ張ります。このときプラグ先端から火花が出れば、正常です。※手袋着用で行ってください。



- 5** 取外しと反対の手順で取付けます。
※点火プラグは、点火プラグキャップにしっかりはめてください。はめ込みがあまいと点火しません。

耐熱グリスの注入

出荷時にグリスは注入済みです。連続使用30時間後に追加のグリスを注入してください。

耐熱グリスをご用意してください。

- 1** 燃料タンク部分を少し持ち上げて、少しボルト部分に隙間を空けて、付属のレンチでボルトを取外します。



- 2** 注入口にグリスを約40g注入します。



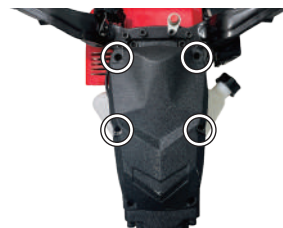
- 3** 取外しと反対の手順で取付けます。グリスの注入は以上です。

ギアボックスへの潤滑油の注入

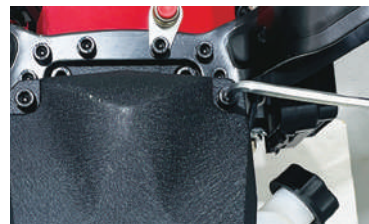
出荷時に潤滑油は注入済みです。月に1回程度で潤滑油を注入してください。

潤滑油をご用意してください。

- 1** ギアボックスを止めている六角ボルトを付属のレンチで取外します。



- 2** ギアボックスカバーをゆっくりと取外し、潤滑油を塗布します。



- 3** 取外しと反対の手順で取付けます。潤滑油の注入は以上です。



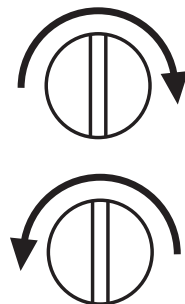
キャブレターの調整

アクセルを握ってもエンジンが吹き上がらないときは、マイナスドライバーでキャブレターの調整をします。キャブレターはエアフィルター裏にあります。



- 1** 現時点の位置から反時計回り1回転させることで、吹き上がりが良くなります。

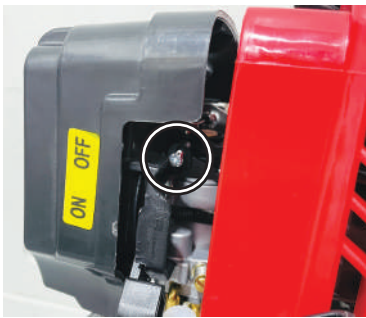
- 2** 上記で調子が悪くなった場合は、時計回りに2回転させることで、良くなります。



※回転位置が分からなくなった場合は、時計回りに止まるまで回し、その位置から反時計回りに1回転半で元の位置に戻ります。そこから再度調整をしてください。

アイドリングの調整

エンジン始動時にエンジンが不安定で止まりそうになったり、アクセルレバーを低速側に戻し、アイドリング状態にしても動作してしまう場合は、アイドリング調整を行います。調整するための調整スクリューはチョークレバー横にあります。



1 アイドリング調整は、付属のプラグレンチのプラスドライバーで調整ネジを回してください。

2 アイドリング時に調整スクリューを反時計回りに回すと、回転が下がります。調整スクリューを時計回りに回すと回転数が上がります。

ネジやナット類の点検

1 各部のネジやナット類の緩み脱落などないか確認します。緩みがあれば増し締めします。脱落している場合は、確実に取付けます。

燃料フィルタ清掃

燃料フィルタが詰まると、パワーが落ちたり、エンジンが停止することがあります。定期的に清掃が必要です。

1 燃料タンクキャップを開け、中にある燃料フィルタを細長い棒のようなもので、引き出します。



2 燃料フィルタが汚れている場合は無鉛レギュラーガソリンで洗います。



3 取外しと反対の手順で取付けます。

本機を2週間以上使用しないとき

- 1** エンジンを停止した状態で、燃料タンクから燃料を抜きます。
- 2** エンジンをかけ、低速運転にしてから燃料切れで停止するまで回し、キャブレター内の燃料を使い切ります。余った燃料は、密封容器に入れ、冷暗所に保管し、1か月以内に使い切ってください。
- 3** チョークレバーを上「閉」にします。
- 4** 各部ボルト・ネジの破損、腐食、緩みの点検をします。
- 5** 湿気やホコリが少なく、子供の手が届かない場所に保管してください。

本規約は、ハイガー(以下「弊社」とする)を経由して販売させていただいた該当商品に関して保証する内容を明記したものです。弊社商品には商品保証書等は同梱しておりません。お客様の購入履歴や保証情報は弊社にて管理・保管しておりますのでご安心ください。返送いただく場合商品を再梱包していただく必要がございますので、梱包材はお捨てにならないようお願いいたします。

1. 保証の期間

商品発送日(ご来店引取の場合ご来店日)から1年間といたします。業務用・営業用として使用される場合、保証期間は6ヵ月といたします。保証期間を超過しているものについては、保証の対象外となり有償対応となります。商品発送日より7日以内の初期不良にあたる場合、送料・手数料弊社負担にて対応いたします。

2. 保証の適用

- ・お買い上げいただいた弊社商品を構成する各部品に、材料または製造上の不具合が発生した場合、本規約に従い無料で修理いたします。(以下、この無料修理を「保証修理」とする)往復送料や出張修理を行った場合の出張料は、お客様のご負担となります。
- ・保証修理は、部品の交換あるいは補修により行います。保証修理で取り外した部品は弊社の所有となります。
- ・本規約は、第一購入者のみに有効であり、譲渡することはできません。ご購入された年月日、販売店、商品、製造番号の特定ができない場合、保証が受けられない可能性があります。
- ・本規約の対象となる商品とは、日本国内で使用し故障した商品とします。日本国外に持ち出した時点で保証は無効となります。

3. 保証適用外の事項

- (1) 純正部品あるいは弊社が使用を認めている部品・油脂類以外の使用により生じた不具合
- (2) 保守整備の不備、保管上の不備により生じた不具合
- (3) 一般と異なる使用場所や使用方法、また酷使により生じた不具合
- (4) 取扱説明書と異なる使用方法により生じた不具合
- (5) 示された出力や時間の限度を超える使用により生じた不具合
- (6) 弊社が認めていない改造をされたもの
- (7) 地震、台風、水害等の天災により生じたもの
- (8) 注意を怠った結果に起きたもの
- (9) 薬品、雨、雹、氷、石、塩分等による外から受ける要因によるもの
- (10) 使用で生じる消耗や時間の経過で変化する現象(退色、塗装割れ、傷、腐食、錆、樹脂部品の破損や劣化等)
 - (11) 機能上影響のない感覚的な現象(音、振動、オイルのにじみ等)
 - (12) 弊社または弊社が認めているサービス店以外にて修理をされた商品
 - (13) 使用することで消耗する部品または劣化する部品(ゴムを使用する部品、皮を使用する部品、樹脂を使用する部品、スポンジ類、紙類、パッキン類、ギヤ・ベアリング等の干渉する部品、ボルト、ナット、ヒューズ、モーターブラシ、チェーン、バルブ内部の部品、バネ、潤滑油、燃料、作動油、刃または先端部品、クラッチ、シャープイン等の緩衝部品、ワイヤ、バッテリー、点火プラグ等)
- (14) 保証修理以外の、調整・清掃・点検・消耗部品交換作業等
- (15) 商品を使用できなかったことによる損失の補填(休業補償、商業損失の補償、盗難、紛失等)

4. 別扱いの保証

部品メーカーが個別に保証している部品については部品メーカーの保証が適用されます。

5. 保証修理の受け方

まずはお問い合わせフォームにて弊社へご連絡ください。
またはお近くの修理協力店へご連絡をしてください。
症状・使用状況を伺い、手続方法をご案内させていただきます。

6. 注意事項

- ・動作点検を行ってから出荷しておりますので、燃料やオイル、水分が残っていたり、多少の傷や汚れ等が付いている場合があります。
- ・部品の在庫がない場合、お取り寄せにお時間をいただくことがあります。
- ・仕様変更などにより同時交換部品が発生する可能性があります。
- ・仕様変更などによりアッセンブリーでの供給しかできない場合があります。
- ・生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
- ・無在庫転売者(送り先が毎回違う購入者)の場合、転売者より購入した商品の場合、保証は無効となります。また発覚次第転売者への措置を取らせていただきます。

- アフターサービスについて■
1. 販売機種が対象となります。※弊社で商品をお買い上げの方に限らせていただいております。
 2. 生産終了品につきましては、部品供給次第で修理不可能な場合があります。
 3. 保証期間(1年間)を過ぎたものは、保証期間内におけるご使用回数に関係なく、すべて有償となります。
 4. 修理の際の往復の送料はすべてお客様ご負担となります。
 5. 修理協力店へご依頼の際は、直接修理協力店に修理代をお支払いください。